



さいとう よしひこ  
齋藤 好彦 議員

# 全世代への 社会保障の取組み策は 地域のニーズを踏まえ取り組む



高齢者等除雪サービス事業 (R3: 申請者79世帯)

**質問** 人生100年時代の到来を見据えながら、高齢者だけではなく、子供たち、子育て世代さらには現役世代まで、誰もが安心して暮らすことのできる全世代型社会保障制度の構築が注目されています。しかしながら、高齢者世帯、高齢一人暮らしの増加により地域における見守り、支えあい

などの希薄化が懸念されています。また、自然災害や感染症拡大防止など多くの課題を抱えながら不安な生活を余儀なくされているのが実情であり、全世代に対する医療、福祉だけではなく生活分野での幅広い社会保障が必要であると考えます。町長の考えを伺います。

一方町では、第7次総合発展計画に基づき、人生100年時代を見据え、個人の価値観や生活様式が多様化している社会情勢のもと、全世代にわたって、住んでいる人が誇れるまちづくりを目指し、各種事業に取り組んでいるところがあります。基

**町長** 国では、令和元年から社会保障全般にわたって持続可能な改革についての検討を重ねてきました。この検討結果を踏まえ、令和2年12月に全世代型社会保障改革の方針を閣議決定し、令和3年6月には、日本の未来を担う子どもたちへの対策や75歳以上の高齢者が増えることによる現役世代の負担上昇を抑制する対策等についての関係法が成立しました。これにより、令和4年度から不妊治療の保険適用や助成制度の拡充、75歳以上の高齢者に係る医療費の窓口負担の、所得に応じた2割への引き上げなどが実施されます。

本的な社会保障は国が行いますが、直接町民に接する基礎自治体として、国の制度では拾いきれないような部分について、地域のニーズを踏まえながら取り組んでいきます。今後、全世代にわたる町民全体の幸せのため、

国の動向も注視しながら町の取り組みの充実に合わせてまいります。



全世代への社会保障を担う窓口



おくに ひろふみ  
小国 浩文 議員

# デマンドタクシーサービスの充実を

## 4月から増便して運行



ユニバーサルデザインの車両に更新予定

**質問** 町では地方創生臨時交付金を活用し、新たにデマンド型乗合タクシーの購入補助を行ない、タクシー事業者は車両を1台更新し、町民の利便性向上にむけ、デマンド型乗合タクシーサービスの充実を図るようですが、どの様な改革を考えているのか、町の考えを伺います。

**町長** この度の車両の更新の目的とデマンド型乗合タクシーのサービスの充実を図ることは関連性はないと認識しております。しかし、これまでデマンド型乗合タクシーの利用者や町内会長会議において町民からのご要望をいただいております。事業主体である町内タクシー業者とも現状を含めた打ち合わせを重ね、昨年12月には地域公共交通会議を開催し、県立新庄病院行きの町外便について、これまでは午前中の往復1便のみでしたが、今年4月からは午後1時に県立新庄病院着の往路1便と、午後1時15分と3時30分に県立新庄病院発の復路2便を増便することと決定しました。

**3回目のワクチン接種は**  
4月上旬に終了予定

**質問** 当初3回目のワクチン接種は、2回目終了後8か月を目前に、3回目接種の予定でしたが、予定を変更し、接種の前進しに舵をきりました。それを受けて町でも接種時期を早め、2月5日からワクチン接種が行われるが、どの様に行うのか、また今後コロナとの共生も考えなければならぬと思うが、町の考えを伺います。

**町長** 2月5日から福祉避難所「とて」における集団接種を、65歳以上の高齢者から開始しました。それに先立ち、医療

従事者については、1月から舟形クリニックでの接種を開始し、2月3日からは高齢者などの施設入所者への接種を各施設で開始しています。また、2月5日からの集団接種では、高齢者に加え、保育士や小中学校の先生、除雪オペレーターなどにも優先的に接種を実施しております。集団接種の

実施日につきましては、2月は、毎週土曜日に実施しましたが、3月からは、土曜日に加え木曜日も行う計画であります。65歳以上の高齢者については3月12日ではほぼ終了し、3月17日からは64歳以下の方々の接種を行い、4月上旬には終了する見込みであります。



3回目のワクチン接種を行う「とて」